

幕府を支えるしくみ

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

鎌倉幕府では、将軍と、主従関係を結んだ武士との結びつきが政治の土台となっていた。武士にとって、先祖から受けついだ領地は生活のよりどころであり、その支配を将軍に認めてもらうことには大きな意味があった。

① 将軍と主従関係を結んだ武士を何というか。

()

② 将軍が①に対して行ったことを、次から2つ選びなさい。

ア 一族を率いて戦いに参加する

イ 領地の支配を認める

ウ 京都や鎌倉の警備を行う

エ 手がらにに応じて新しい領地を与える

()

③ ②のような、将軍から①への保護や恩恵を、漢字2字で答えなさい。

()

④ ①が将軍に対して行ったことを、②のア～エから2つ選びなさい。

()

⑤ ④のような、①が将軍に対して果たした義務を、漢字2字で答えなさい。

()

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

頼朝が亡くなると、2代目の将軍と武士たちとの争いが続き、やがて幕府の実権は、頼朝の妻の父にあたる人物がにぎった。その一族は将軍の力をおさえ、将軍を助ける最高の職を代々受けついで政治を動かした。幕府の中央には、仕事ごとに分かれた役所が置かれていた。

① 頼朝の死後に幕府の実権をにぎった一族を答えなさい。

()

② ①が代々受けついだ、将軍を助ける最高の職を答えなさい。

()

③ ②を中心に、有力な武士の話し合いによって進められた政治を何というか。

()

④ 次の仕事を受け持った役所の名を、それぞれ答えなさい。

ア 御家人の統率と軍事

イ 財政

ウ 裁判

ア () イ () ウ ()

解答

1

- ① 御家人
- ② イ、エ
- ③ 御恩
- ④ ア、ウ
- ⑤ 奉公

2

- ① 北条氏
- ② 執権
- ③ 執権政治
- ④ ア 侍所 イ 政所 ウ 問注所